

◆特別勘定に関する指標等

① 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	61,898		61,578	
変額個人年金保険	78,046		58,618	
団体年金保険	688,178		708,345	
特別勘定計	828,123		828,542	

② 個人変額保険及び変額個人年金保険特別勘定の状況

a. 2021年度の運用状況

国内外の株式相場については、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念から下落する局面があったものの、好調な企業業績を背景に上昇基調で推移しましたが、年度末にかけては、インフレ懸念を背景とした米国の利上げ観測やウクライナ情勢の緊迫化を背景に下落しました。国内の長期金利については、日本銀行による金融緩和の継続を背景に低位で推移しましたが、年度末にかけては、米国金利の上昇やウクライナ情勢の緊迫化によるエネルギー価格の高騰を背景に上昇しました。米国の長期金利については、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念を背景に低下基調で推移しましたが、年度末にかけては、インフレ懸念を背景とした米国の利上げ観測を背景に上昇しました。為替(ドル円)については、年度前半は新型コロナウイルス感染再拡大によるリスク回避の動きや、米国金融政策への警戒感から横ばいで推移しましたが、年度後半はエネルギー価格の高騰に伴う日本の貿易収支悪化や、日米金利差の拡大等により、円安ドル高となりました。

こうした環境のなかで、個人変額保険特別勘定については、国内外の株式の構成比をやや高めて国内外の債券の構成比を抑えることを基本に運用しました。また、株式相場の上昇局面では国内株式・外国株式の一部売却を、逆に相場下落局面ではその後の反発を見込んで買い入れを行いました。その結果、当年度の運用利回りはプラスとなりました。変額個人年金保険のうち自社で運用する特別勘定については、基本資産配分並みの構成比を基本としつつ、相場の見通しに応じ構成比の調整を行いました。なお、為替ヘッジ付外国債券については、投資妙味を勘案した結果、配分は行わず、国内債券のみで運用を行いました。その結果、当年度の運用利回りはプラスとなりました。変額個人年金保険のうち投資信託を主な投資対象とする特別勘定については、投資信託の組入れ比率を概ね高位に保ちました。

b. 保有契約高

●個人変額保険

(単位：件、百万円)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険(有期型)	17	80	13	65
個人変額保険(終身型)	47,958	249,091	46,367	241,358
合 計	47,975	249,172	46,380	241,424

(注) 保有契約高には、定期保険特約部分を含みます。

●変額個人年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額個人年金保険	109,326	224,233	81,277	173,064

c. 特別勘定資産の内訳

●個人変額保険

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	1,718	2.8	387	0.6
有価証券	59,058	95.4	59,314	96.3
公社債	17,656	28.5	17,098	27.8
株 式	17,961	29.0	17,935	29.1
外国証券	23,441	37.9	24,281	39.4
公社債	5,851	9.5	5,653	9.2
株式等	17,590	28.4	18,627	30.3
その他の証券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
その他	1,121	1.8	1,876	3.0
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	61,898	100.0	61,578	100.0

●変額個人年金保険

(単位：百万円、%)

区 分	2020年度末		2021年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	8,729	11.2	4,612	7.9
有価証券	65,603	84.1	48,847	83.3
公社債	28,124	36.0	18,685	31.9
株 式	8,789	11.3	5,784	9.9
外国証券	23,539	30.2	20,121	34.3
公社債	20,516	26.3	18,360	31.3
株式等	3,023	3.9	1,761	3.0
その他の証券	5,148	6.6	4,255	7.3
貸 付 金	—	—	—	—
その他	3,713	4.8	5,158	8.8
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	78,046	100.0	58,618	100.0

d. 運用収支状況

●個人変額保険

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
	金額	金額
利息配当金等収入	900	1,005
有価証券売却益	2,487	2,981
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	16,289	14,440
為替差益	19	19
金融派生商品収益	404	42
その他の収益	1	2
有価証券売却損	1,331	665
有価証券償還損	8	34
有価証券評価損	5,584	13,314
為替差損	5	12
金融派生商品費用	8	28
その他の費用	0	0
収支差額	13,163	4,437

(注) 2020年度の有価証券評価益 16,289百万円には有価証券振戻益 4,333百万円が、有価証券評価損 5,584百万円には有価証券振戻損 4,542百万円がそれぞれ含まれています。
2021年度の有価証券評価益 14,440百万円には有価証券振戻益 1,042百万円が、有価証券評価損 13,314百万円には有価証券振戻損 11,955百万円がそれぞれ含まれています。

●変額個人年金保険

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
	金額	金額
利息配当金等収入	1,853	928
有価証券売却益	2,944	2,972
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	9,486	5,831
為替差益	87	7
金融派生商品収益	232	168
その他の収益	2	5
有価証券売却損	740	413
有価証券償還損	4	16
有価証券評価損	6,214	8,186
為替差損	89	6
金融派生商品費用	148	156
その他の費用	309	348
収支差額	7,102	784

(注) 2020年度の有価証券評価益 9,486百万円には有価証券振戻益 2,167百万円が、有価証券評価損 6,214百万円には有価証券振戻損 5,428百万円がそれぞれ含まれています。
2021年度の有価証券評価益 5,831百万円には有価証券振戻益 785百万円が、有価証券評価損 8,186百万円には有価証券振戻損 7,319百万円がそれぞれ含まれています。

③ 団体年金保険特別勘定の状況

a. 団体年金保険特別勘定特約の受託状況

(単位：件、億円)

	2020年度末		2021年度末	
	件数	時価残高	件数	時価残高
第1特約	1,451	6,852	1,454	7,021
合計	1,451	6,852	1,454	7,021

(注) 1. 件数は、各年度末に時価残高のある団体数です。
 2. 特別勘定第1特約は、複数の団体年金のご契約資金を合同運用しています。

b. 特別勘定第1特約の時価残高の推移

(単位：億円)

	2020年度末	2021年度末
総合口A	1,452	1,359
総合口M	914	1,454
総合口S	1,630	1,450
円貨建公社債口A	916	917
円貨建公社債口P	326	317
円貨建株式口A	30	35
円貨建株式口B	116	96
円貨建株式口E	—	15
円貨建株式口P	488	478
円貨建株式口V	15	26
外貨建公社債口A	150	126
外貨建公社債口B	112	94
外貨建株式口A	591	553
外貨建株式口D	18	12
短期資金口A	86	80
合計	6,852	7,021

c. 特別勘定第1特約の運用実績の推移

(単位：%)

	2020年度末	2021年度末
総合口A	27.35	7.12
総合口M	3.29	2.64
総合口S	0.72	△ 1.40
円貨建公社債口A	△ 0.41	△ 0.96
円貨建公社債口P	△ 0.74	△ 1.20
円貨建株式口A	39.88	2.16
円貨建株式口B	49.37	△ 7.46
円貨建株式口E	—	△ 2.97
円貨建株式口P	42.06	1.95
円貨建株式口V	47.44	5.75
外貨建公社債口A	5.47	1.91
外貨建公社債口B	△ 1.89	△ 5.21
外貨建株式口A	58.22	24.02
外貨建株式口D	60.62	△ 11.41
短期資金口A	0.00	0.00

(注) 1. 運用実績はユニット価格伸び率を掲載しております。
 2. 総合口Mの運用実績は2020年7月1日運用開始以降のユニット価格伸び率を掲載しております。
 3. 円貨建株式口Eの運用実績は2021年10月1日運用開始以降のユニット価格伸び率を掲載しております。